



特定非営利法人 国際ボランティア学生協会(IVUSA)
International Volunteer University Student Association

事業報告書

平成 27 年度 琵琶湖外来水生植物駆除活動

【除去活動】

〔日時〕6月28日、7月23日、9月11日～13日、10月9日、11月11日、12月5日、2月10日

〔場所〕滋賀県大津市、草津市、守山市 東近江市、米原市、高島市、彦根市

〔参加人数〕計 1638 名(地域住民、環境団体を含む)

〔活動内容〕オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの除去

〔成果〕・約 55t のオオバナミズキンバイを除去できた。

- ・水中、船上からの引き上げなどの重労働において学生の力が発揮できた。
- ・他団体と連携、協議をとりながら進めたことにより、作業の効率化をはかることができた。
- ・夏の大規模活動では南湖の湖岸緑地公園、遊歩道の初期群落、内湖の初期群落、烏丸半島湖岸の大規模群落除去ができた。
- ・北湖で発見されたオオバナミズキンバイに対しても迅速な対応ができた。

【広報活動】

〔活動内容〕第7回世界水フォーラム、えふえむ草津「イブロケ 785 FRIDAY」、ボラ活「大津・交流会」、マザーレイクフォーラムびわこコミ会議、イナズマロック「おいで～な滋賀体験フェア」、大学の学園祭による展示発表、おおつ環境フェスティバル、守山川づくりフォーラム、草津市こども環境会議、淡海の川づくりフォーラム、新聞やテレビなどメディア掲載

〔成果〕・各方面の多くの人たちに琵琶湖の現状について発信できた。

【活動関係者】

〔後援〕琵琶湖外来水生植物対策協議会

〔協力〕滋賀県、守山市、草津市、大津市、東近江市、米原市、高島市、彦根市、環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、滋賀県立大学、近江ウェットランド研究会、認定NPO 法人びわこ豊穰の郷、新守山川を美しくする会、玉津小津漁業協同組合、志那漁業協同組合、山田漁業協同組合、瀬田町漁業協同組合、チーム一滴、独立行政法人水資源機構、近江鉄道ゆうグループ、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県南郷水産センター、滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀銀行、平和堂、一般社団法人滋賀県トラック協会、石山寺観光駐車場など



▲北湖での除去活動(東近江市)



▲夏の大規模除去活動(9/11~13)



▲世界水フォーラム

泥、石積み、他植物より再繁殖してくるオオバナミズキンバイ



烏丸半島
北部湖岸の定点観測
観測範囲(約600m)



2014年4月13日
湖面に群落



2014年5月25日
腰の高さまで成長



2014年6月10日
黄色い花が咲いている



2014年9月16日
除去活動(約5,000㎡、100t)



2014年11月15日
モニタリング作業(約150kg)



2015年5月8日
目立った群落は見当たらず



2015年9月1日
泥、他植物との混生地から復活



2015年9月12,13日
除去活動(約2300㎡、18t)



烏丸半島
東部湖岸の定点観測
観測範囲(約400m)



2015年6月6日
黄色い花が咲いている



2015年7月2日
機械駆除および手作業除去



2015年9月12日
石積みの間などから復活



2015年9月12日
他植物との混生地などから復活



2015年 9月12, 13日
除去活動(183地点、総面積58㎡、総重量260kg)

コメント

機械駆除および手作業で、どんなに丁寧に除去しても泥、石積み、他の植物群落内に僅かな根、茎は残り、4月より成長が見受けられる。泥、石積み、他の植物体に根付くと、除去労力の増大と再繁殖リスクがあり、根絶に向けた除去作業は困難になる。除去したエリア、未確認のエリアともに幅広い人の目で監視を行い、早期発見が重要である。発見次第、速やかに情報共有、連携を行い初期段階での除去が大切。初期対応が遅れた場合、除去の労力、仮置き場、最終処理などの負担・経費が増大。各主体の円滑な連携と初期対策が極めて重要である。

漂着してくるオオバナミズキンバイ

●
草津市 北山田
湖岸緑地公園 樋門



5月19日
小規模群落はあるが
目立ったオオバナは見当たらず



6月25日
新たな群落は漂着
したと思われる



8月27日
大規模な群落は漂着



8月27日
近くには漂流しているオオバナ

●
草津市 北山田
湖岸緑地公園



9月15日
除去大作戦後
(見える群落はホテイアオイ)



9月15日
漂流しているオオバナ

10月2日
オオバナの群落は漂着

●
草津市
十禅寺川

●
草津市 平湖
湖岸緑地公園



5月8日
右側は人力、左側は機械駆除
目立った群落は見当たらず

8月27日
オオバナの群落が出現。
漂着？再繁殖？

4月26日
河川内にオオバナの群落

6月6日
オオバナが流されている
6月5日の雨？

今年度は、漂着してくるオオバナの群落が大きく、多いように感じた。湖岸や内湖の大群落から分離したり、河川のオオバナが大雨時に流出したり、湖面に漂うヒシ、コカナダモなどの中で生育したオオバナが漂着したり、供給源は様々に思える。オオバナの群落が移動している事が多い豪雨、暴風、台風などの後には、監視の強化が必要と考える。漂着直後のオオバナは駆除しやすく、根付いてしまう前に、早期の情報共有とともに、各主体の円滑な連携と、早期除去が極めて重要である。